

# ～地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業～

## (重点支援地区) 戸沢村角川地区〔令和3年度実施地区〕

### ■ 実施体制

- アドバイザー：宇野 壮春 氏(東北野生動物保護管理センター)
- コーディネーター：最上総合支庁農業振興課  
最上総合支庁農業技術普及課  
最上総合支庁環境課

### ■ 地区のプロフィール

- 地区の世帯数：268世帯
- R2被害状況：被害額 420千円 被害面積 21.3a
- 主な被害作物：水稲、そば、野菜など
- 主な加害鳥獣：サル、イノシシ、クマなど



## 1. 取組のきっかけ

- 戸沢村では、5年ほど前から南部の角川地区を中心にサル、イノシシが目撃され始め、農作物への被害も年々増加傾向にある。
- 被害の多くが家庭菜園で発生しており、時間や労力、経費をかけて対策を講じても割に合わず、ほとんどの住民が諦めている雰囲気であった。
- 猟友会（鳥獣被害対策実施隊）による捕獲、追い払いを実施しているが、効果は一時的なものであり、また突発的な住民からの要請への対応が非常に困難である。
- 野生鳥獣に関する知識や被害対策の技術を習得する機会を設けることにより、地域住民が自ら鳥獣被害対策に取り組む動きに繋がればとの思いから、本事業の活用を要望した。

## 2. 取組の内容

### ● 事前打ち合わせ

アドバイザーの宇野先生、地区代表者とともに、事業概要の説明や村の被害状況の確認を行った。

その後、集落内の状況や電気柵の設置予定箇所の確認を行った。

### ● 野生鳥獣に関する研修会

野生鳥獣の生態と対策について、アドバイザーより説明を受けた。

また、第2回研修会では集落点検を実施し、野生鳥獣を誘引する原因の把握と、改善策について伺った。

### ● 電気柵設置講習会

山形県有害鳥獣被害軽減モデル事業を活用し導入した電気柵を用いて、圃場での設置講習会を行った。

併せて、周辺にセンサーカメラを設置し、被害状況の把握に努め、電気柵の有効性の検証を行った。

### ● 追い払い花火に関する研修会

鳥獣駆逐用火火に関する講義を実施し、その後付近の圃場において実演を行った。

講義では、花火の効果的な使い方、また安全面で配慮すべきことについて習得することができた。

また、実演については参加者の関心が非常に高く、次年度から集落ごとに本格的に取り組む意向も確認できた。



集落点検



電気柵設置講習会